

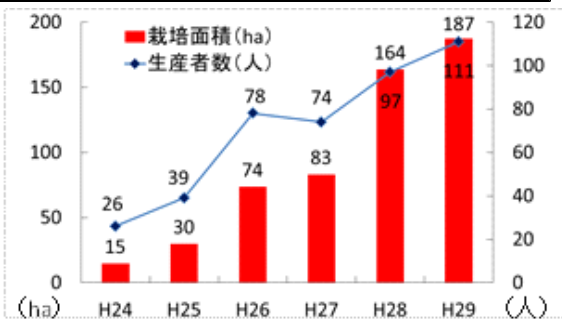
平成29年6月27日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	今年もさらに拡大！西いわみ「つや姫」栽培現地研修会を開催！
-----	-------------------------------

(ダイジェスト)

西いわみ地域において、島根県が推進する水稻品種「つや姫」の作付面積が近年大幅に増加し、新規栽培者も増えたことから「つや姫」栽培現地研修会を開催しました。管内各地域の「つや姫」栽培者が集まり、これからの栽培ポイントの説明や、「つや姫」マイスターからの熱い話に熱心に耳を傾けていました。

西いわみ地域では、平成29年産水稻奨励品種「つや姫」の作付面積が約187haの見込みとなっており、新規栽培者も増えました。西いわみの昨年産「つや姫」の玄米外観品質は良好で一等米比率は高く、炊飯米のつや・粘りも良く人気があることがその要因の一つと考えられます。



「つや姫」栽培に際しては、特別栽培米基準を遵守することが必須条件であり、今年度JAしまね統一防除暦も変更されました。

平成29年産についても「つや姫」の品種特性を最大限に活かし、高温条件下に対応した適切な栽培管理を行っていく必要があります。

そこで、西いわみ地域の「つや姫」栽培者を対象にして、6月22日（木）に西いわみ「つや姫」栽培現地研修会を開催しました。益田普及部から西いわみ地域における「つや姫」の生産状況や今後の管理ポイントについて話をした後、JAしまね西いわみ地区本部米穀課から「つや姫」の栽培上の注意点や使用資材に関する説明を行いました。また、「つや姫」マイスター実践ほ場（島根県普及実証ほ）において現地検討を行い、「つや姫」マイスターより農業経営の観点からみた「つや姫」生産についてや、「つや姫」に対する熱い思いを語っていただきました。

当日は、管内の「つや姫」生産者約20名の参加があり、現地検討会ではほ場を熱心に見学してこれからの栽培管理について確認していました。今後も良質米「つや姫」の生産拡大に向けて支援を行っていきます。



研修会の様子



マイスターほ場現地検討